

往還ノート

2 学期 2 号 (240 号) 2021 年 1 月



救急箱の薬 (再)

放送大学広島学習センター客員准教授 中島 健一郎

以前 (平成 28 年 1 月 5 日号) の往還ノートで「救急箱の薬」という話をしました。恩師の浦 光博教授の言葉です。この言葉を胸に、心理学教員として教育と研究に励んでいます。「心理学は救急箱の薬である。必要のない時には、特に心理学に関心を向ける必要はない。でも、困った時に心理学の知識があれば助かることがある。救われることがある。」



以前の往還ノートでは、救急箱の薬として中村・浦 (2000) の研究を紹介しました。この研究は、サポートを友人に期待する程度と、実際に提供されたサポートの程度が一致しないときに、自尊感情が傷つけられたり、精神的健康が損なわれたりすることを明らかにしたものです。ここで重要なのは、期待以上のサポートを行うこともまた人を傷つける可能性があることです。困っている人がいたら助けるのではなく、困っている人が望む分だけ助ける。その大切さを教えてくれる研究です。

今回は、救急箱の薬 (再) として「手続き的公正」を紹介したいと思います。手続き的公正とは集団での意思決定に至る過程、すなわち手続きの公正さです。ここでの意思決定には社会や組織でなされるものも含まれます。人は手続きに公正さを感じると、そこで決めた決定を守るだけでなく、そのような決定を行った集団 (の決定権のある人々) へのコミットメントを強め、集団のためになることを行おうとします。

レーベンサール (1980) は、手続き的公正の基準について 6 つにまとめています。以下は、本間 (2011) からの引用です。

1. 人、時を超えて、手続きの過程に一貫性がある。
2. 偏った判断を抑制している。
3. 多様で的確な情報に基づいている。
4. 誤った決定だとわかればそれを修正する機構、装置がある。
5. 決定者の代表性がある。
6. 倫理にかなった判断をする。

これらの基準が 40 年経った今も胸に響くのはなぜでしょうか。その答えはおぼろげながらも見えてつあります。それを大事にしながら、これからも教育と研究に励んでいこうと思う今日この頃です。

参考文献

本間道子 (2011). 集団行動の心理学 - ダイナミックな社会関係のなかで -, サイエンス社

Leventhal G.S. (1980) What Should Be Done with Equity Theory?. In: Gergen K.J., Greenberg M.S., Willis R.H. (eds) Social Exchange. Springer, Boston, MA.

中村佳子・浦 光博 (2000). 適応および自尊心に及ぼすサポートの期待と受容の交互作用効果. 実験社会心理学研究, 第 39 巻 2 号, 121-134.

目次

客員教員寄稿	1	視聴学習・図書室からのお知らせ	4
「所長室コーナー」から	2	行事の報告・お知らせ	5
事務室からのお知らせ	3	スケジュール(1月~4月)	8

文章を書くということ(2)

広島学習センター所長 山田 隆

「論文の書き方」などのハウツー本では、「構想をしっかり立てて骨組みに肉付けしていこう」などと記載されている。この構想がはっきりしないから書けないのであって、実は構想は書いているうちに、頭の中の混乱が整理され、まとまってくるものである。とにかく、書けるところから書き始め、書き始めたらどんどん書き進めるのがコツである。外山滋比古氏は、「思考の整理学」（とにかく書いてみる）の中でこう述べている。「全速で走っている自転車は、少くらの障害をもともしないで直進する。ところがノロノロ自転車だと石ころ一つで横転しかねない」。書き出したら、細かい表現は気にしないで断片でもよいから一瀉千里に書く。一段落ついたら、次のトピックスで書き始める。書き貯めた断片は、最後にまとめて編集すればよい。書き上げたものは、井上ひさし氏のように何回も推敲する。推敲者は、分野の離れた人のほうが適している場合がある。見慣れた文字列は、脳が勝手に汎化する。例えばアルファベットのスペルミスを見落とすのも、見慣れた脳の手抜きによる場合が多い。分野の違う人であれば、言葉の並びそのものが新鮮であり、間違いを見つけやすい。脳は勝手に順化も行う。ギクシャク感じた部分も、何回か読んでいっているうちに違和感が消えてしまう。違和感は新鮮な頭で修正するべきであろう。パソコンで作った文章の入力漢字変換ミスも非常に多い。場合によっては大きな問題を引き起こす。例えば、「博士論文」を「白紙論文」、「奨学寄附金」を「少額寄附金」、「経済波及効果」を「経済は急降下」、「新分子」を「新聞紙」としたミスはまだ笑えるが、公文書にはあってはならない不適切な言葉が出たりすると大変なことになる。パソコン文章では、フォントの混乱も問題となる。特に数字とアルファベットの半角化は統一したほうが良い。論文の記述の中には、文献からの引用が少なからずあるはずである。これについては出典をこまめに示す必要がある。放送大学生の卒業研究指導の経験から思う一つの注意点は、ある主張（論文の中で重要な意味を持つ）の主体が不明確な場合である。文献からの主張（文献を引用すること）に、これこれの理由で自分は賛成である、あるいは反対である、という形で記載すべきであろう。論文を書くにあたり、だれもが格調高い立派なものに仕上げたいと思うのは当然である。しかし、立派なものとは、難しい漢字、表現、専門用語を用いて、重々しく書いたものではない。読みやすく、わかりやすく、主張と論旨が明快なものこそ立派なものである。



過去の機関誌「往還ノート」へ掲載された所長室コーナーからの「文章を書くということ」(1)は、広島学習センター・福山サテライトスペースホームページ機関誌紹介に「往還ノート」のバックナンバーを掲載しておりますので、そこから閲覧することができます。（「文章を書くということ」(1)は2020年10月号(239号)に掲載しています。）

●○次学期の履修手続きについて○● ☞学生生活の葉(大学院 P56～、P89/教養学部 P60～、P94～)参照

① 次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

方法	申請期間	申請方法
郵送	2月13日(土)～ 2月27日(土)本部必着	1月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	2月13日(土) 9:00～ 2月28日(日)24:00	システム WAKABA の「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。

② 今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

方法	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 2月28日(日)本部必着 【第2回募集】 3月16日(火)本部必着	1月中旬に送付されます継続入学用募集要項(※)もしくは一般の募集要項に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください)。 <small>※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。</small>
インターネット	【第1回募集】 2月28日(日)24:00 【第2回募集】 3月16日(火)17:00	システム WAKABA の「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください。 教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は科目登録申請期間中(2月13日(土)～2月28日(日))にシステム WAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。

③ 今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

④ しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

※面接授業を登録申請する際は注意してください※

2021年第1学期面接授業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉講、定員削減、Zoom等のシステムによるWeb授業への変更、状況次第では代替措置へ切り替え、加えてご自身の居住地外に所在する学習センターでの面接授業の越境受講禁止などの措置を行う可能性があります。

特に卒業見込者、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方におかれましては、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

事務局からのお知らせ

●○次学期の学生証の交付について○●

☞学生生活の葉(大学院 P24~/教養学部 P18~)参照

3月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は、**4月2日(金)から交付**できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務局窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。

顔写真を新しくされたい方は、更新の1か月前に学生生活の葉巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システム WAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システム WAKABA は有効期限日の2か月前より変更可能です。



有効期限を確認

視聴学習・図書室からのお知らせ

◆◇視聴学習・図書室の学期末臨時閉室について◇◆

次学期準備のため、広島学習センターと福山サテライトスペースの視聴学習・図書室を**3月24日(水)~31日(水)**の期間、閉室します。

閉室期間中の本部図書の貸出は事務局にて行います。

◆◇庄原教室の移転について◇◆

庄原教室は庄原市民会館の改修に伴い、庄原市立図書館（庄原市西本町二丁目 20-10）へ移転を予定しています（令和2年度末の移転を目的）。移転後、放送授業はノートパソコンで視聴することができます（DVDは配架しません）。詳細は次回の往還ノート及び広島学習センターホームページに掲載します。

◆◇広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について◇◆

2019年度(4月~3月)に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバーを、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でご自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

◆配布期間：2月13日(土)~2月28日(日)

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室(3階)

◇配架雑誌◇

英語教育/栄養と料理/科学/教育学研究/公衆衛生情報/こころの科学/思想/情報処理/数理科学/都市問題/ニュートン/一橋ビジネスレビュー/月間福祉/文藝春秋/法学セミナー/ユリイカ/臨床心理学/Interface/National Geographic

広島学習センター開設 30 周年記念行事を行いました

広島学習センター開設 30 周年記念式典

10 月 31 日（土）に広島学習センター
開設 30 周年記念式典を行いました。



広島学習センター開設 30 周年記念公開講演会 放送大学学長 来生 新先生

「人生 100 年時代の生涯学習と放送大学」と題して
講演いただきました。

広島学習センター開設 30 周年記念公開講演会 放送大学広島学習センター前所長 安原 義仁先生

「英国オープン・ユニバーシティの半世紀を振り返って
-放送大学への示唆-」と題して講演いただきました。



放送大学開設 30 周年記念公開シンポジウム

11 月 1 日（日）公開シンポジウムを行いました。

- 第 1 部：放送大学に学んで 学生 4 名による体験談
- 第 2 部：放送大学への期待 パネルディスカッション





文化祭・作品展示会

学生の皆様による作品展示です。

サークルや同窓会などの学生団体による展示や

写真や絵画、留学で学んだことをパネルにまとめていただき展示しました。



蛍窓短歌会



俳句クラブ



I(アイ)クラブ





広島同窓会



学生個人出展



客員教員

柴 静子先生の展示

足利銘仙の美しい着物や布
東京大衆歌謡楽団について
展示いただきました。



2020 年度履修者 卒業研究成果発表会

2020 年度に卒業研究を履修した学生が、研究の成果を発表します。卒業研究の履修を考えている方や卒業研究に興味のある方は是非参加してください。

- 日 時：2月14日(日) 14:00~15:30
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務室
- その他：資料準備の都合によりできるだけ事前に参加申込をしてください。

放送大学広島同窓会主催 広島学習センター山田所長を 囲んでの座談会

(在学生・同窓会会員・卒業生対象)

広島学習センター所長を交えて、学生・卒業生同士で「お話」しましょう。

入学してよかったこと、学習の悩みや疑問、ほかの学生はどんなふう学習してるの?等々、交流の輪を広げ、放大型をもっと楽しみましょう。

- 日 時：2月7日(日) 14:00~16:00
- 場 所：広島学習センター会議室(4階)予定
- 申込先：広島学習センター事務室へ電話、又は 0321366664@campus.ouj.ac.jp(同窓会)へメール
- 申込締切：1月31日(日)

スケジュール(1月~4月)

1月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

13日(水)~21日(木) 単位認定試験(自宅での受験)
※当初の予定から変更しています。

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

7日(日) 所長を囲んでの座談会
13日(土)~27日(土) 科目登録申請(郵送)
13日(土)~28日(日) 科目登録申請(Web)
14日(日) 卒業研究成果発表会

3月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3日(水)~15日(月) 教員免許更新講習修了試験(自宅での受験)
16日(火) 2021年度第1学期学生募集出願締切
24日(水)~31日(水) 視聴学習・図書室閉室期間
28日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)
※幕張メッセで行う予定の学位記授与式は中止になりました。

4月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

16日(金) 面接授業空席発表
22日(木)~ 面接授業追加登録開始

閉所日(月曜日、祝日、年末年始、所長が必要と認めた日)

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターHP

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>

卒業・修了おめでとうございます



広島学習センター

2020年9月27日(日)に、
2020年度第1学期
学位記授与式を行いました。

【2020年度第1学期卒業生・修了生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	8	—
心理と教育コース	20	4
社会と産業コース	8	2
人間と文化コース	7	2
情報コース	1	—
自然と環境コース	1	—
人文学プログラム	1	—
合計	46	8



福山サテライトスペース

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業・修了おめでとうございます..... 1	卒業生・修了生代表挨拶..... 3
学位記授与式客員教員祝辞..... 2	卒業生・修了生からのメッセージ..... 5

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 加藤 範久

この度は、ご卒業、ご修了おめでとうございます。ご家族の皆様方、関係者の皆様方もさぞかし喜びのことと存じます。

私は長年、栄養学の分野で研究を行ってきました。その中で、たびたびセレンディピティーを経験してきましたので、そのことに関連したお話をしたいと思います。セレンディピティーとは何かからお話しします。セレンディップは現在のセイロンのことで、セイロンの若い三人の王子様の童話からきています。セレンディピティーとは、思いがけないものを発見すること、あるいはその能力のことです。特に、科学の分野で実験の失敗が思わぬ大発見につながったときなどに使われ、科学者の世界ではセレンディピティーの話がよく出てきます。さらに、セレンディピティーは、科学者に限らず私たちが日常生活において経験することであり、人生を送る上でも重要なヒントを含んでいます。

そこで、最初にお話ししたいのが、セレンディピティーを生み出すための条件です。おそらく最低三つの条件が必要です。第一に、行動的でアクティブであることです。活発に行動して色々なことにチャレンジしなければセレンディピティーは起こりません。第二に、やはり好奇心旺盛で自分の目によく見て観察し、心が動くことです。第三に、思いがけない発見により思考が活性化し、インスピレーションが湧くことです。さらに、セレンディピティーをもたらす環境に意識的に身を置くことも大切です。出来るだけ異なる環境に身を置くことや、どこか遠くに行ってみる事です。ニュートンはスペインかぜの時にケンブリッジ大学が閉鎖され、帰省している間に、りんごが木から落ちるのを見て、万有引力の法則を発見したそうです。この時も環境を変えたこととじっくり考える時間があったことが発見にプラスになったのかもしれない。

また、セレンディピティーの重要な特徴は、その意外性のため大きな感動を伴うことです。そのため新たな創造的な活動のモチベーションにつながります。さらに、周りも共感し、ポジティブな影響を及ぼします。その意味で芸術やスポーツに似ているかもしれません。私は、長年、食生活の長寿における役割について興味を持っておりまして、大学でも講義を行ってきました。ところが、食生活の改善だけでは不十分で、さらに大切なヒントがセレンディピティーにあるのではと考えるようになってきました。すなわち行動的で常にチャレンジすること、好奇心旺盛であること、自分の目で見じっくり物事を考え、受け入れることです。若々しいご年配の方々を拝見致しますと、これらの特徴が見受けられます。やはり日頃から、芸術など感動する体験を増やし、感性を磨くことや、心をリセットすることが大切なのかもしれません。放送大学でのこれまでの皆さんの挑戦は称賛に値します。さらに、これからも新しいことに挑戦して、感動ある人生を送ってください。

以上が私からの祝辞で、皆さんへのエールです。今後の皆さんのご発展を心より祈念しております。この度は、誠におめでとうございます。



卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 朝辺 泰子(自然と環境コース)

本日は、私たち卒業生・修了生のために学位記授与式を行っていただき、誠にありがとうございます。また山田所長様ならびに客員教授の先生から暖かいお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。

私は 1998 年に入学いたしました。少し休学の期間もありましたが、22 年間に在籍させていただき、「社会と産業コース」、そして「心理と教育コース」を学ばせていただきました。

入学した当初は、学生時代を思い出し、勉強が楽しく、新鮮で、新しい人生が始まった気がしたのを覚えております。また質の高い授業をしてくださり、学生の方々も熱心に勉強されるのを見て、学びの大切さも感じました。

クラブ活動や屋外活動にも参加させていただきました。放送大学では殆ど一人で学ぶというスタイルですが、クラブ活動や屋外活動では、たくさんの学友ができ、通信教育の孤独さからも解消し、多くの学ぶ楽しさ、知る喜びを頂きました。それがモチベーションの維持にもつながったのではないかと思います。

前回の卒業論文では、「広島とカンボジアにおける市民交流の研究」をいたしました。その時にご指導いただいた、前、安原所長さまに「カンボジアひろしまハウス」をご紹介いただき、カンボジアスタディツアーにも参加し、素晴らしい経験もいたしました。今でもボランティア活動は継続して交流させていただいております。

今学期はオンラインでの面接授業にもチャレンジいたしました。コロナ感染拡大の影響により面接授業は全て中止となりましたが、卒業までに残り 1 単位の面接授業の人のために、救済措置としてオンラインでの面接授業を設けてくださいました。

Zoom でのオンラインに不慣れな私は、面接授業途中、少し難しい所もありましたが、先生がたが細やかに対応してくださり、最後までレポートを書き上げることができました。細やかなご教授心より感謝申し上げます。コロナ状況下における教育環境の変化の中、オンライン面接授業で単位が取れたことは画期的な変化だと感じました。

最後になりましたが、今日まで暖かくサポートしてくださった広島学習センターの職員の皆様。そして素晴らしい学びの機会と環境をつくってくださった放送大学の皆様に心より感謝申し上げます。

これからの放送大学の益々の発展を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



卒業生・修了生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生代表 長島 和子（心理と教育コース）

本日は私たち卒業生のためにこのような素晴らしい学位記授与式を催して頂き、誠に有難うございます。また山田所長様から心温まるお言葉を頂き、重ねて感謝申し上げます。



そして学生生活をサポートして下さった皆様のお蔭で、この度晴れやかな気持ちで卒業の日を迎えることができ感謝と喜びを感じています。本当に有難うございます。

私は 2005 年に 3 年次編入で入学しました。入学の動機は、医療短期大学を卒業していましたので、学士を取得したいという思いからでした。その時は学業と仕事の両立が困難となり 2009 年に退学しました。

しばらく大学での学びから離れ学士を取得することを諦めていましたが、2018 年に再入学しました。きっかけは、病気を患ったことでした。大学での学びから離れていた間、無意識に働きかける心理療法を学び、心理セラピストとして活動していました。病気のため活動を休止し、時間の余裕ができたことと心理学の学びを深めたいという思いが二回目の入学の動機です。

卒業までのモチベーションとなったのは、興味のある教科を学べたことと、学友の皆さまと学びを共にできたことです。長年学びたいと思っていた、死生学やユング心理学を学ぶことができたのは、私にとっての財産となっています。普段は学友の方とお会いする機会はありませんでしたが、単位認定試験の会場や控え室で様々な背景を持つ方がいらっしやることに刺激を受けました。特に 70 代の人生の大先輩の方が試験を受けられているのを拝見し、私もまだまだ学び続けたいという思いを強くしました

学生生活で苦労したのは、学業と仕事の両立、時間的なことでした。昼休憩や移動時間などの隙間時間を活用し勉強しました。勉強方法は通信指導問題や過去の試験問題を調べながら印刷教材を読み理解を深めていきました。卒業までに 15 年の月日が経過しましたが、学びを継続し卒業するために大切なことは、学びの中に喜びを見出すこと、何のために学ぶのか意図を明確にすることだと感じています。

心理を学ぶ過程は、学びを深めながら自分自身の病気や人生に向き合う機会となりました。人生の大きな転機の時期に、放送大学で学べたことは貴重な時間だったと感じています。また新しいことを知り、学びを深めていくことの楽しさを体験し、学びは人生を豊かにしてくれるのだと実感しています。

引き続き、科目履修生として再入学し、学びを人生のエッセンスにしていきたいと思っています。学ぶ機会を与え



て下さったことに心から感謝しています。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。最後になりましたが、今日まで学生生活をサポートして下さった教職員の皆様、学友の皆様のご健勝とご多幸そして放送大学の益々のご発展を心より祈念致しましてお礼の言葉とさせていただきます。

本日は本当に有難うございました。

卒業生・修了生からのメッセージ

2020年度第1学期卒業生・修了生の皆様より、卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆様へ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 M.S

最初は、軽い気持ちで、お試しの気持ちで1科目受講しました。「国際理解のために」でした。本当に良い科目を選択したと思います。すっかり魅了されました。覚える事より忘れる事が得意ですが、新しい事柄に出会えるのを楽しみに、次のコースにチャレンジしたいと思っています。

●生活と福祉コース卒業 末田 律子

私は55才で福岡看護専門学校の通信制に入学してカリキュラムの中に放送大学で受ける科目があり団体入学したのがきっかけで勉強して無事、正看護師の国家試験に合格する事が出来、また、同級生の仲間達と一緒に学習センターで勉強したことが良い思い出になっています。若い時から振り返ってもあんなに勉強したことはありません。子供達も手を離れていたため勉強が生活の一部になっていました。また青春に戻った気持ちでまた新鮮な気持ちになり継続して勉強を続けているうちに、今月で70才の歳月が経っていて自分でも節目に立ちいつまで続ける事ができるかまた再入学して挑戦していきます。長い間ありがとうございました。これからもよろしく願います。

●心理と教育コース卒業 青井 悦子

今回の卒業を感謝いたします。

第1回の入学時には(1991年4月)放送大学はアナウンサー養成所なのと質問されたものだ。当時は各県への学習センター設置、高齢者生涯教育可能を目指した時代であった。私はここで学ぶ楽しさ、我が無能さを知った。我が家も要介護候補者を抱えていたので継続入学を機に専門知識取得へ変更。今回のお祝に夫から大型地球儀をもらった。地球は丸く多数の国が見えた。

●心理と教育コース卒業 金政 佳樹

理系の通信制大学を卒業した私ですが、もし文系だったら心理学を学びたかったという思いがありました。そんなときに、放送大学で心理学を学べることを知り、ここしかない！と思い立って入学しました。そこからは夢中で勉強し、

気がつけばあっという間に卒業が決まっていました。通信制という環境、心理学という学問は私にとってぴったりだったのかもしれませんが。次は、生活と福祉コースに再入学し、まだまだ学びを継続したいです。

●心理と教育コース卒業 H.K

2017年2学期に3年次に編入し、心理と教育コースを卒業となりました。心理に興味をもつきっかけとなったのは、子の不登校という、決して楽しくはないできごとでした。しかし今ではあのできごとのおかげで今の私がある、というすがすがしい感謝の気持ちを持っています。

10代のころ、私にとって勉強は「つらいこと」「やらなければならないこと」読んで字のごとく「勉めることを強いられること」でした。40代になり、自分が「学びたい」と思って学ぶことは喜びであると気付きました。幸せな経験をありがとうございます。今後は選科履修生として、さらに学びたいことを学び続けていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしく願います。

●心理と教育コース卒業 長島 和子

この度、15年をかけて卒業できましたことに喜びと達成感を感じています。

一度は、卒業を諦めていましたが、病気を機に再入学しました。心理について学ぶ過程では、学びながら自分の病気や人生について向き合うきっかけを頂きました。引き続き再入学し、学びを人生のエッセンスにしていきたいと思っています。学生生活をサポートして下さった大学、教職員の皆様方、学友の皆様方に心より感謝申し上げます。有難うございました。

●心理と教育コース卒業 沼田 和宏

たとえその分野のプロが集まって、その持てる限りの知見を出し合っても解決できない問題は常に存在する。そういったときの解決方法は、他分野の知見を借り、より広い視野での考察が解決の近道になる。生涯学習といえば余暇の時間を利用して自分の趣味をといった考えもある。ただ、私はこの放送大学を通じ、色々な人に助けられ、多方面の知識と経験を増やすことで、学びと成長を実践できたのでここに感謝の意を表したい。

●心理と教育コース卒業 横溝 美佳

この度、3年半で無事に卒業することができ、安堵の気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

入学当初は仕事と勉強の両立に悩みました。思うように勉強時間を確保することができないこともありましたが、途中で諦めずコツコツと努力をすることで、単位修得できました。また、支えてくれた家族には感謝しています。こうして社会人になっても学べる環境にいらることができて、ありがたいと感じています。

これからも、自己成長できる人でありたいです。今後は、科目履修生としてお世話になります。

●社会と産業コース卒業 大島 敏伸

4年前68歳となり会社の勤務日数を週3日に減らした時点で、余暇の活用と痴呆予防に放送大学の「社会と産業コース」で受講開始。思い出は、通信指導の締め切り時間を錯覚し提出遅れで半年間を無駄にしたこと、一人だけで面接授業を受講したことも。面接授業は福山だけでなく鳥取、島根、岡山、香川等の各地で楽しく受講し知人も増え交流もできました。ご指導頂いた先生方と大学職員の皆様に感謝いたします。

●社会と産業コース卒業 金川 誠

47才で選科履修生として入学して13年経ちました。管理職として勉強不足を感じ、図書館に通って3年経った頃でした。自分に足りない経営学、マーケティング、統計学等を中心に仕事上の必要を考えました。しっかり学ぼうの気持ちとは逆に、仕事を言いわけに学習は遅れ、試験をやり過ごしてきました。会社の研究開発、製造、品質保証の部長を担当し、役立つ場面があったと考えています。定年後のこれからは、自分のやりたいことを学ぼうと思います。

●社会と産業コース卒業 藤井 信夫

放送大学へは1990年2学期に入学し長らく休学していました。その間2018年9月末法政大学通信教育を卒業し、同年2学期放送大学に再入学して2年で卒業することができました。放送大学の魅力は、①自宅のパソコンなどで自分のペースで自由に学べること。②単位認定試験や公開講座などが近くの広島学習センターで受けられ、たいへん便利に学習できるシステムだと思い

ます。10月からは「人間と文化コース」で引き続いて学びます。ありがとうございました。

●社会と産業コース卒業 山脇 政憲

科目履修生でスタートしましたが、現役時代のおさらいをしたくなり、2016年に社会と産業コースに全科履修生として入学しました。経済学系、法学系を中心に科目を選定し、今回の卒業にて一応の目的を達成することが出来ました。放送大学での学びは自分に自信を与えてくれたと感謝しています。

更なる高みを目指し知識と教養を身につける為、人間と文化コースへの継続入学の手続を致しました。

●人間と文化コース卒業 岡 英子

いつの間にか6年が過ぎました。「現代哲学への挑戦」「ドイツ哲学の系譜」「方丈記と徒然草」「文学・芸術・武道にみる日本文化」など現在の私の指針となりました。2020年度第1学期の面接授業では、杉森先生の指導のもと“ズーム・ミーティング”で「16・17世紀の日本と欧州」について学びました。時代は刻々と進んでいます。途中2回の入院があるも無事ゴール！！応援していただいた方々に感謝、感謝です。

●人間と文化コース卒業 菊地 玲子

この度5年半かけて人間と文化コースを卒業します。好きな科目で、打ち込んで勉強することができました。人間、生涯勉強するものだと言った明治生まれの祖母が言いました。今の時代を生きていく為に常に学んでいくのが私の人生のスタイルです。所属する福山サテライトスペースでは、顔見知りの友人もでき、卒業に向けて事務の方々に親切に指導していただきました。有難うございます。

●人間と文化コース卒業 森山 有子

2016年10月、3年次編入で埼玉学習センターへ入学し、家庭の事情で2018年8月に広島へ転居してから2年、広島学習センターで卒業致しました。

広島へ転居してからは仕事での残業が多く、エリア異動もあり、いくつか単位も落としてしまい勉強が続けられるか不安な日もありましたが、憧れていた4年制大学を広島で卒業することが出来て嬉しいです。今後は選科履修生として色々なジャンルの勉強をしたいです。